取扱説明書

日立リビングサプライ

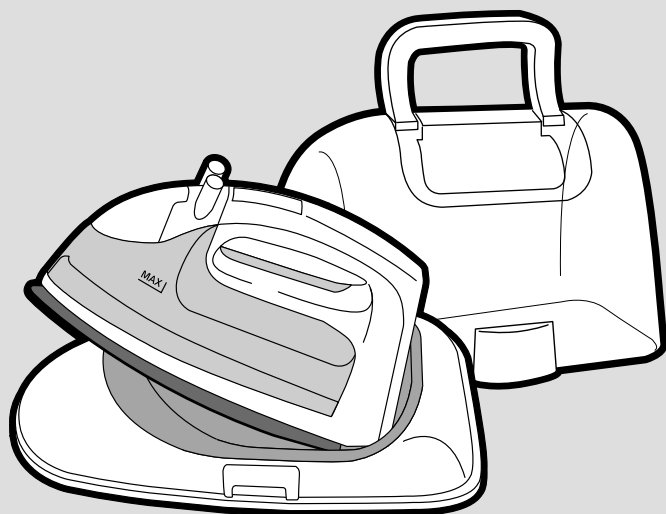
保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

コードレススチームアイロン

CSI-57形

このたびは、コードレススチームアイロンをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。

コードレススチームアイロン
Vegee

目　次

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

- このアイロンは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全のため必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

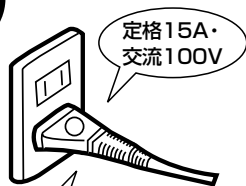
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

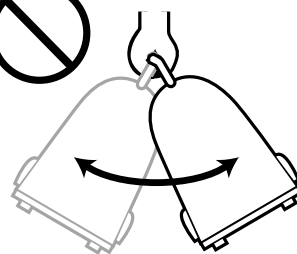
警告

改造はしない お客さまご自身で 分解・修理をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。
（破損や故障した場合は、修理を販売店へご依頼ください。）

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。

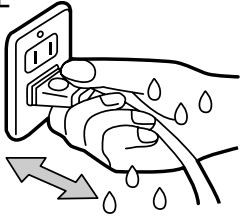
ハンドルを持って、ケースを左右に振らないでください

ハンドルが外れ、ケース·アイロン·スタンドが落下するおそれがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

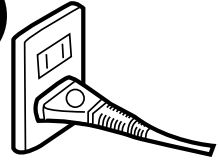
⚠警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグ・コードを破損するようなことはしない

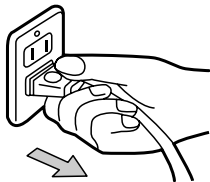
傷つけたり·加工したり·無理に曲げたり·引っ張ったり·ねじったり·束ねたり·重い物を載せたり·高温部に近づけたりしない。傷んだまま使用するとショート·感電·火災の原因になります。

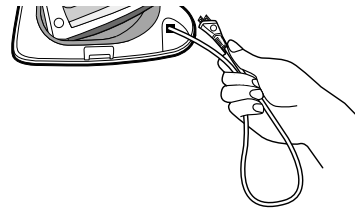
電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。
（傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。）

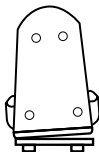
電源プラグのほこり等は定期的に取る

電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火の原因になります。

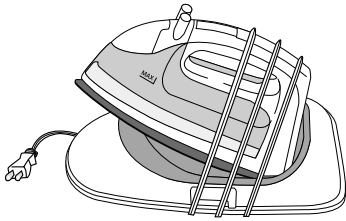
コードを巻き取るときは、電源プラグとコードを持って巻き取る

電源プラグが当って、けがの原因になります。

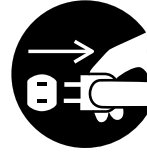
ケースをスタンドに確実にセットすること（運搬時）

アイロン、スタンドが落下してけがの原因になります。

アイロンの近くで可燃性ガス（ベンジンなど）が発生するものを使用しない

火災や故障の原因になります。

⚠注意

熱いアイロンにコードを巻き付けない。

ショート・発火することがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

熱いスチームを手やひざにかけない

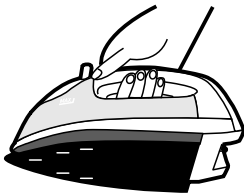
接触禁止

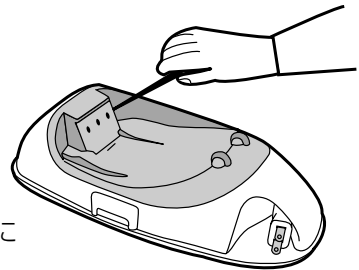
やけどの原因になります。

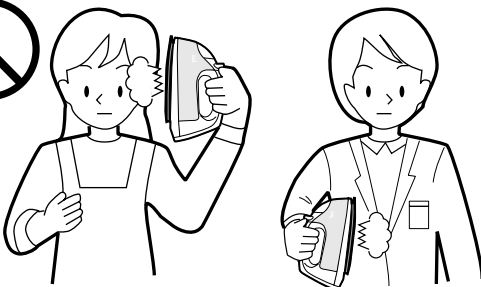
高温部（かけ面・カバー・スタンド・水タンクの下部）に手を触れない

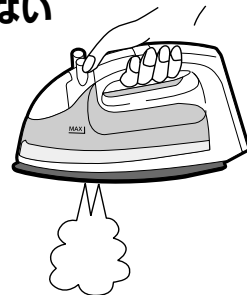
接触禁止

やけどの原因になります。

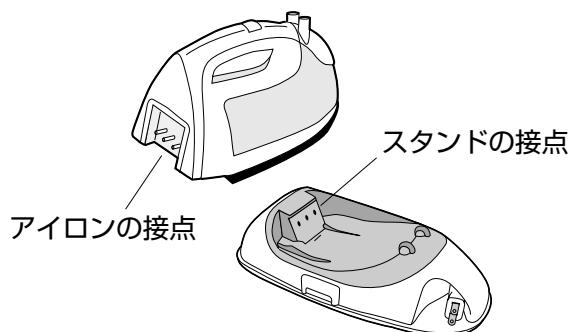
アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない

熱湯が吹き出て、やけどの原因になります。

スタンドの接点にピンや針金で触れない

感電の原因になります。

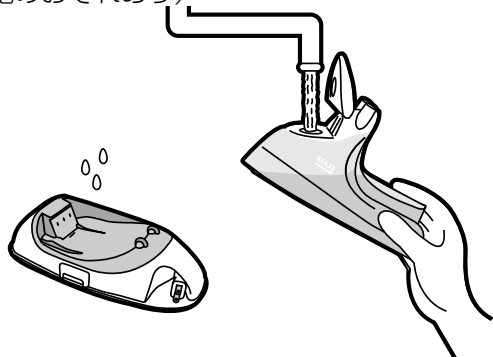
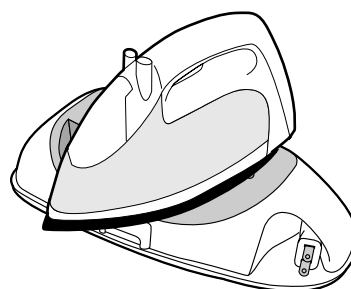
人や身体および着用したままの服に、スチームをかけない

やけどをするおそれがあります。

「スチーム増量ボタン」を連続して早く操作しない

4秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどをするおそれがあります。

お願い

接点は磨かないで！
（接触不良のもと）

市販のかけ面カバーは使わないで！
（誤動作のもと）

ボタン・ファスナー等の固いものにアイロンかけをしないで！
（傷付きのもと）

水をこぼさないで！
（感電のおそれあり）

かけ面をスタンドの面に横向きにおかないでください
（変形・傷の原因となります）

※製品を落として亀裂や破損をした場合は、ご使用をやめてお買い求めの販売店に点検･修理依頼を !!

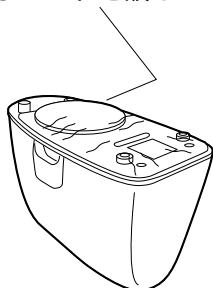
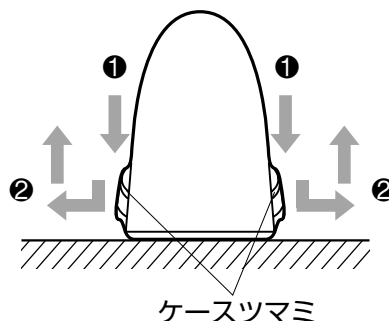
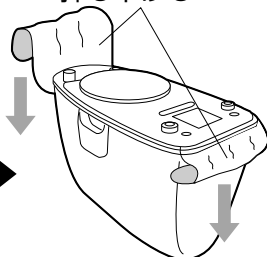
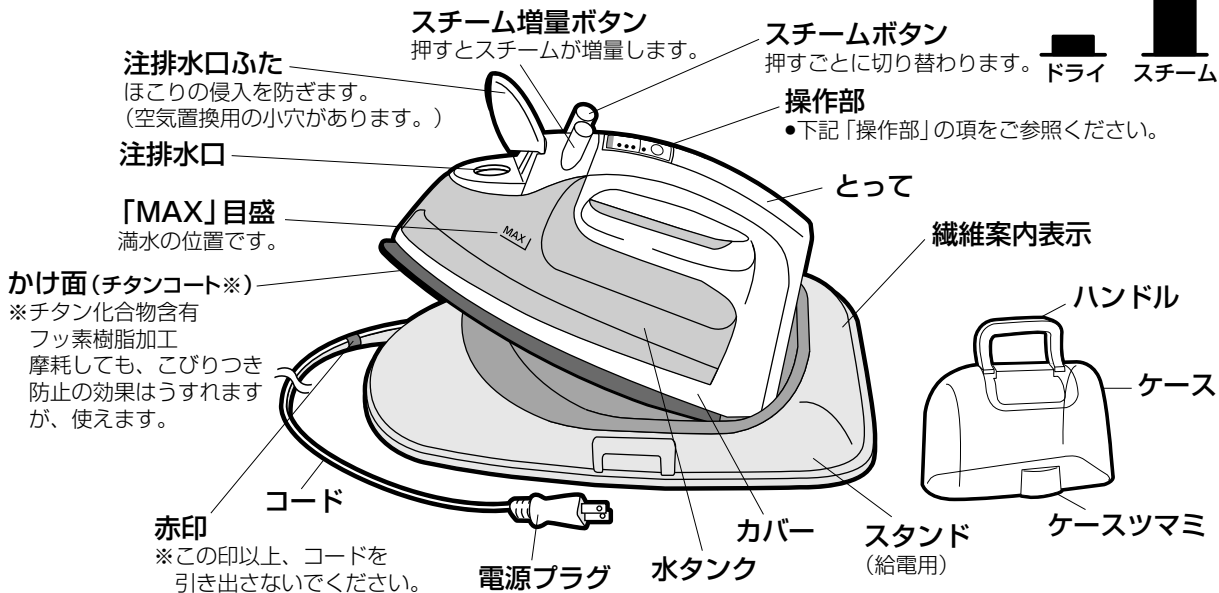
梱包しているケースをはずすとき

梱包材が入っているためはずしにくい場合がありますので、次の手順で行ってください。

1. **底面の透明シートを破り、シートを開いて周囲より押し下げる。**
   傷付きを防ぐため、やわらかい布の上でおこなってください。

❶シートを破る

❷シートを開いて押し下げる

2. **テーブルなどに置いてから、**
   ❶ケースツマミを両手で押し下げる。
   ❷次にケースツマミを**外側へ開いて持ち上げる。**

各部のなまえとはたらき

操作部

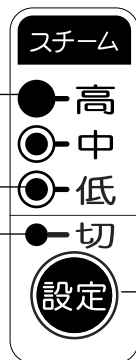
※操作はスタンドに置いて給電されている状態で行います。

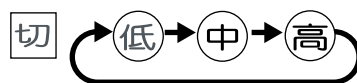
温度表示ランプ（赤）

- 点滅は、加温中や、高い温度から低い温度設定に変えたときなど設定温度に達していないことを示します。
- 設定温度になれば、点灯に変わります。
- 一度、設定すると、温度設定は、記憶されます。但し、切操作やオートオフ後は、温度設定をし直してください。

切ランプ（緑）

- 電源プラグをコンセントへ差し込んだとき
- オートオフが働いたとき…（☞10ページ）
- 温度設定を切にしたとき…（☞10ページ）

スチーム
高
中
低
切
設定

温度設定ボタン

- 押すごとに、ランプが移動します。設定したい位置に止めてください。

- 2秒以上押すと切に切り替わります。…（☞10ページ）

知っておいていただきたいこと

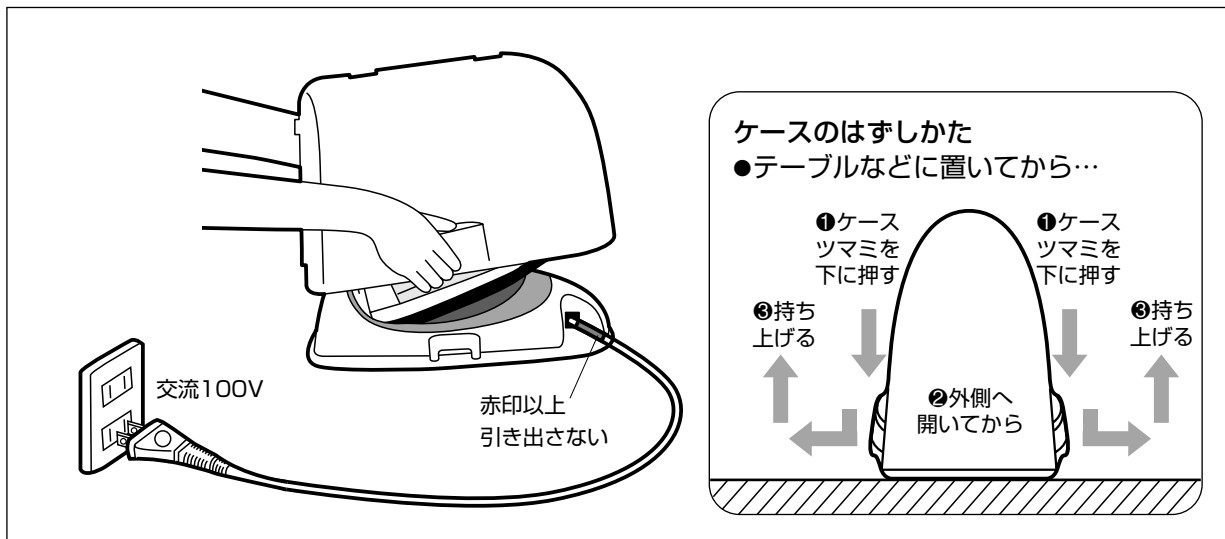
コードレスアイロンについて

コードレスアイロンは、スタンドに置くと給電し、設定温度を保ちます。

- アイロンかけの動作は、かけ続けでなく**「かける」**と**「衣類を整えるために置く」**のくり返しです。
  この**「置くとき」**に、スタンドへ戻すことで設定温度を保ち、コード付きのものとほぼ同じようにお使いいただけます。
- スタンドよりはずし、スチーム増量ボタンを使用せず連続してスチームアイロンかけできる時間は、使用条件により異なりますが、（高）温度設定で約70秒～約90秒です。

使いはじめる前に

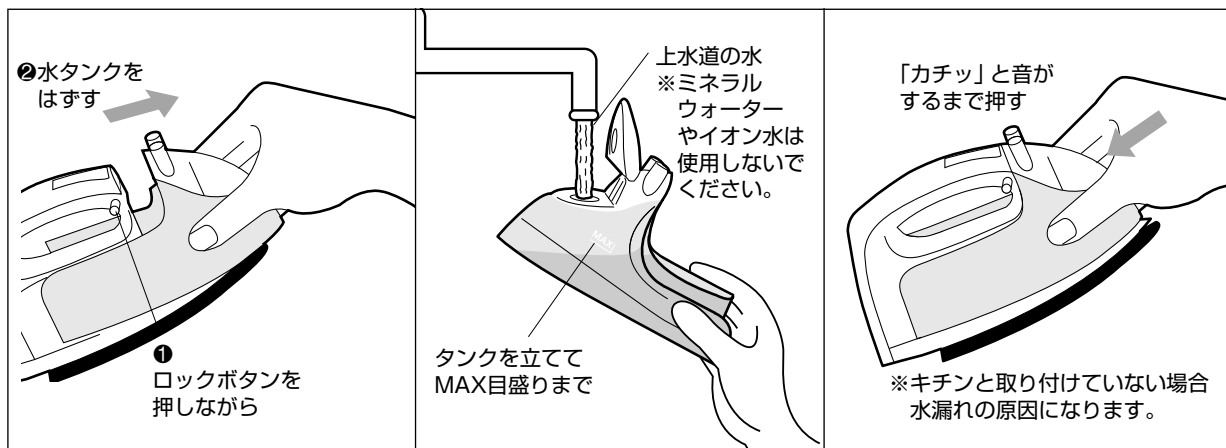
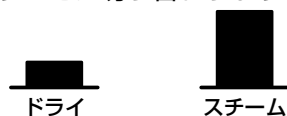
1　電源プラグをコンセントに差し込む

ケースをはずしてから、コードを引き出し、電源プラグをコンセントへ差し込む。切ランプ(緑)が点灯します。

2　水タンクに水を入れる

ドライアイロンとしてお使いになるときは、水タンクに水を入れなくても、お使いいただけます。

水こぼれ防止のためにスチームボタンをドライにし、水タンクをはずして水を入れる。次に**注排水口ふたの先端**を**押して**しっかり締めてから、水タンクを取り付ける。

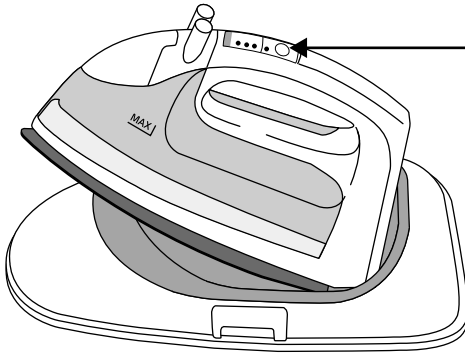
●水タンクが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

●注排水口ふたは、無理に押し上げないでください。
割れる原因となります。

●**「MAX」目盛以上、注水しないでください。**
（スタンドに置いたときスチームが出てスタンドが結露します。）

●注水の時、水がこぼれたときは必ず布でふきとってください。

スチームアイロンとしての使い方

1　温度設定

アイロンをスタンドに置き、衣類に適した温度に設定すると、ランプが点滅します。

設定を押して温度設定をする。

（アイロンがスタンドからはずれていると、温度設定はできません。）

※スタンドに置く時は、スチームボタンを押し下げて「ドライ」にしてください。

スチーム

衣類に合わせて(高)(中)のいずれかに設定する。

※衣類の絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。

(高)：(高)温度の厚手の布地やふっくら仕上げなどに

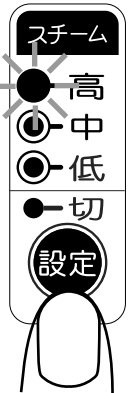
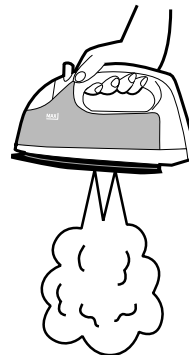
(中)：(中)温度の薄手や混紡の布地に当てるとき

温度設定とスチーム

温度設定	使用目的
中	薄手や混紡の布地を当てるとき
高	厚手の布地やウールのふっくら仕上げなどに

スチーム増量
ハンガースチーム

必ず(高)に設定する。

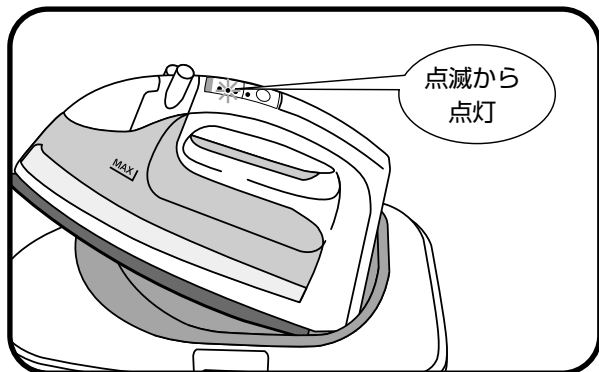
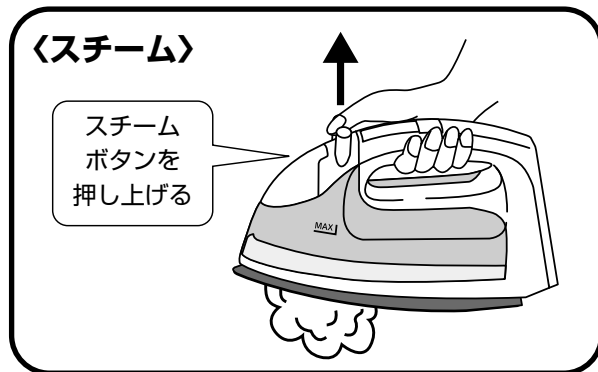
※(高)以外に設定すると、水もれしたり、スチームが出ないことがあります。

●強力スチームでガンコなシワや厚手の布地の仕上げに適しています。

「上手なアイロンのかけかた」(13〜15ページ)をご参照ください。

布地を傷めないために、低温・中温および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。

2 使用開始

ランプが点滅から点灯に変わると使えます。（アイロンをスタンドからはずしたときは、ランプは消えます。）
「高」が約80秒、「中」で約55秒かかります。
アイロンを水平にして、スチームボタンを押し上げて「スチーム」にすると約5～10秒後スチームが出始めます。「中」で「スチーム」を使用されると、「高」に比べご使用時間が短くなります。

〈スチーム〉

スチームボタンを押し上げる

●温度設定を高温から中温に変えた場合は、点滅が点灯になってからご使用ください。
●使いはじめやスチームの出方が弱いときは、**「スチーム増量ボタン」**を1～2回押してください。または**「スチームボタン」**をゆっくり1～2回押してください。

●傾けたり前後にはげしく動かすと注排水口やスチーム穴より水や湯滴が出ることがあります。
●水タンクの水が無くなりましたら、「使いはじめる前に」の「2　水タンクに水を入れる」の手順で注水してください。

〈スチーム増量〉

※4秒間隔より早く操作すると、湯滴が出ます。

〈ハンガースチーム〉

※4秒間隔より早く操作すると、湯滴が出ます。

●使いはじめにスチームが出ないときは、スチーム増量ボタンを1～2回押してください。
●タンク内の水が少なくなってスチームが出にくいときは、満水目盛まで再注水してください。
●次の場合は、アイロンをスタンドに戻して給電してください。
（1）スチーム増量使用中に、スチームの勢いが弱くなってきたとき。
（2）ボタン操作が重くなり、スチームが出なくなったとき。（スチームバルブが作動しています。）

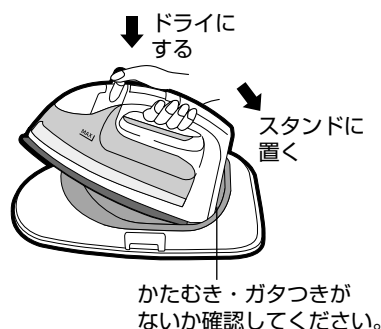
●アイロンを真横や逆さにしないでください。水もれすることがあります。
●「スチーム増量ボタン」は、ドライ・スチームどちらの位置でもご使用できます。

スチームアイロンとしての使い方（つづき）

お願い

- 「スチーム増量ボタン」の操作が重くなったりスチームの勢いがなくなった後も、「スチーム増量ボタン」を押し続けると、湯滴や水もれや故障の原因になりますのでおやめください。
- スチーム使用中に「スチーム増量ボタン」を押した場合、かけ面の温度が下がってスチームが出にくくなります。
- 「スチーム増量ボタン」を使用した後、「スチーム」状態でのスチームは約3〜5秒後出始めます。
- 「スチーム増量ボタン」の使用回数が多いとかけ面の温度が下がって「スチーム」状態でのスチームの勢いがなくなります。

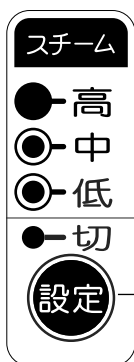
3 給　電

①アイロンを使用していない（衣類を整えている）ときやスチームの勢いがなくなったときは、スタンドへ戻して給電してください。
②アイロンをスタンドへ戻すとき、スチームボタンを **「ドライ」** にしてください。そのまま戻しますと **「かけ面」** のスチーム穴から水蒸気、湯滴が出つづけます。
③給電中はランプが点滅します。かけ面の温度が設定温度の範囲内になると、ランプは点滅から点灯に切り替わります。

オートオフについて

アイロンをスタンドに置いたままにしておくと、10分後にブザーが鳴り、切ランプが点滅して、自動的にヒーター回路を切り、切にします。

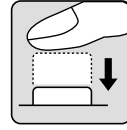
- オートオフが切になった後、続けてご使用になるときには、温度設定をし直してください。
  オートオフは「低」･「中」･「高」いずれかの温度設定状態にある時に動作します。
  また、アイロンをスタンドに置いた時に動作して、スタンドからはずすと解除されます。

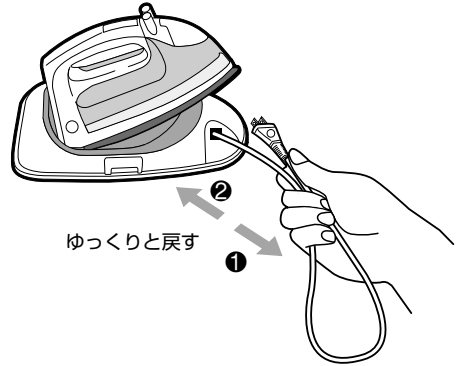
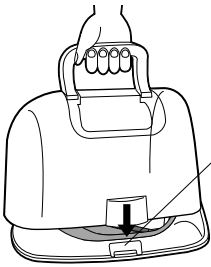
4 収　納

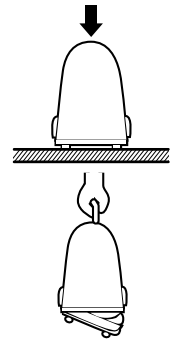
1. 電源を切にします。

アイロンをスタンドへ置いてから、2秒以上温度設定ボタンを押すと切に切り替わります。設定温度には関係ありません。

- ご使用後は必ず切にしてから電源プラグを抜いてください。切にしないでプラグを抜き、再使用しますと、マイコンが記憶している前回の設定温度になります。

2. 電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。本体を冷ましてください。

3. 水タンク内部のヌメリ、汚れ付着防止のため、スチームボタンを**ドライ**にし、**水タンクの水を捨てる**。
●水タンクが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

4. コードを収納する。
※右図のように電源プラグとコードを持って、巻き込んでください。
❶ 矢印の方向にコードを約5～10cm程度**引く**。
❷ 次に、コードを**ゆっくりと戻す**。

●コードがよじれているときは、よじれをもとに戻してから、ゆっくりと巻き込んでください。
●コードを赤印以上引っ張ったときは、少し強めに引っ張ってから巻き込んでください。

5. ケースを傾けずに、**まっすぐかぶせる。**

アイロンを持ち運ぶとき

ケースの上面を手で押さえて、ケースがスタンドに確実にセットできているか確認してください。
※ケースの片側のみが引っかかった状態で持ち運ぶと、アイロン・スタンドが落下することがあります。

ワンポイントアドバイス

●スチームバルブ機構について
ご使用中、かけ面温度が下がるとスチームバルブが動作し、スチームが止まります。また、動作するとき内部で「カチン」と音がしますが、異常ではありません。

●アイロン本体を振ったときの「カタカタ音」について
弁などが動く音です。異常ではありません。

●スチーム穴をつまりにくくするには
収納する前に、「高」位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上で2～3回「スチーム増量ボタン」を押してください。
（スチームのパワーにより水あかをつまりにくくするクリーニング効果があります。）

●アイロンをスタンドに置いたとき
- 「シュー・シュー」と音がする場合がありますが、異常ではありません。
  スチームボタンは必ず「ドライ」にしてください。
- 「スチーム」になっていると水蒸気や湯滴が出つづけます。
- 給電中、「カチッカチッ」と音がしますが、スイッチの入・切音です。

●布地を傷めないために
低温・中温の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。

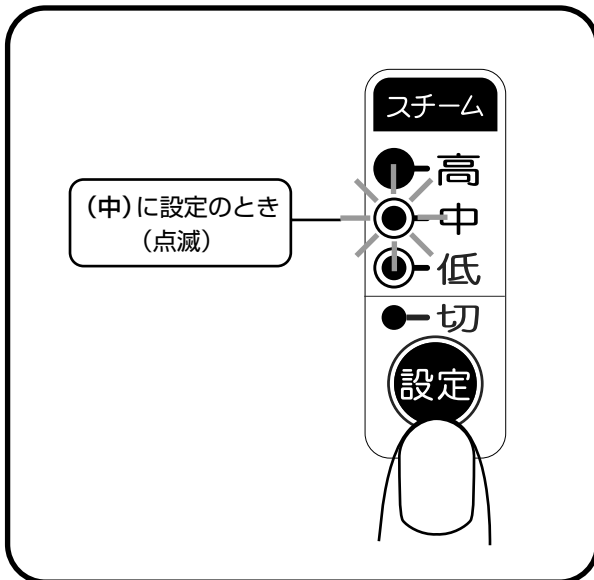
●接着芯地など、のりが付いているものにアイロンをかけるには
必ず、タオルなどの「当て布」をして、アイロンかけをしてください。

ドライアイロンとしての使い方

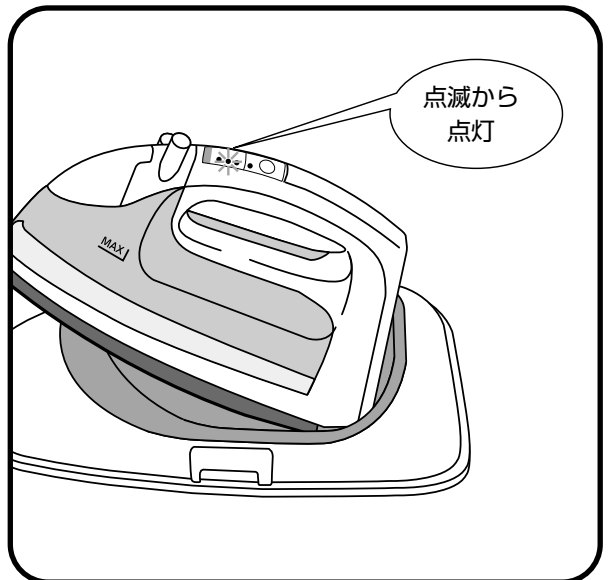
●布地を傷めないために、低温・中温および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。

1 温度調節

アイロンをスタンドに置き、温度設定ボタンを押して、衣類に適した温度に合わせる。

※スタンドに置くときは、スチームボタンを押し下げて「ドライ」にしてください。

衣類に絵表示があるときは絵表示に従って合わせ、ないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。(下記ご参照)

2 使用開始

ランプが点滅から点灯に変わると使える。

設定温度を高温から中温、中温から低温に変えた場合は、点滅が点灯になってからご使用ください。

「給電」・「収納」は10ページをご覧ください。

絵表示の見かたと温度の関係

絵表示の見かた例

絵表示	意味
中(波線付き)	〜〜線は指示温度で当て布をする意味です。
中 裏から	指示温度で布地の裏からかける意味です。
(×印)	アイロンかけはできません。
その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。	

絵表示と温度の関係

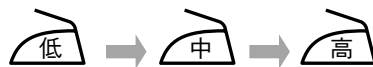
繊維製品の絵表示	低	中	高
衣類・布地の種類	アクリル アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル	綿 麻 レーヨン(短繊維) ポリノジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約100℃	約150℃	約190℃
設定温度になるまでの時間	約35秒	約55秒	約80秒

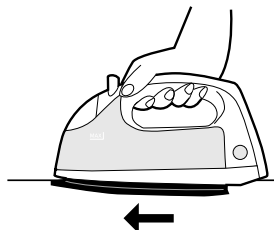
※混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

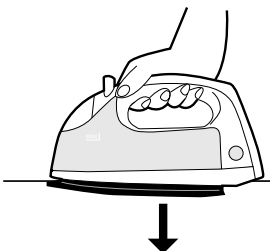
上手なアイロンのかけ方

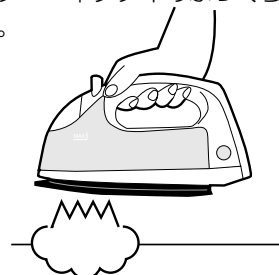
アイロンかけの基本動作

■アイロンかけは順序よくかける

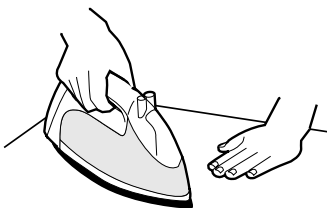
●低温のものから高温のものへ順番に布地に合った温度でかけます。
アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。

■軽くすべらす

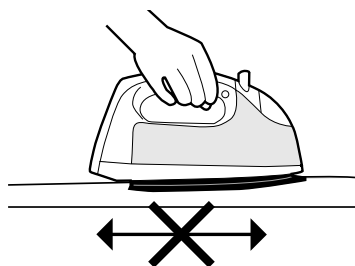
ワイシャツ・ハンカチの仕上げに。

■しっかり押さえる

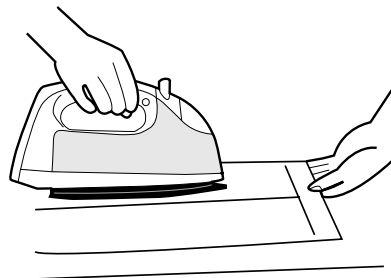
パンツ・スカートの折り目つけに。

■「スチーム」は軽く浮かせる

セーター・ネクタイのふっくら仕上げに。

■テクニックを身につける

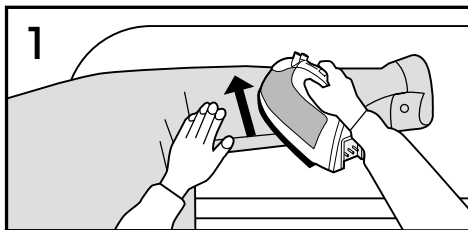
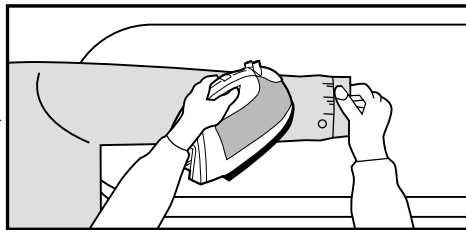
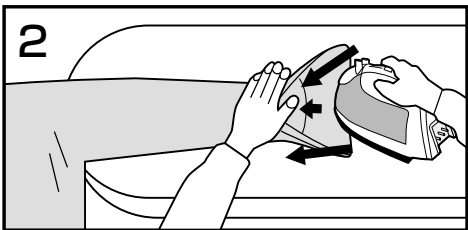
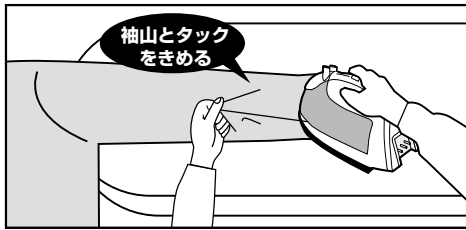
両手をうまく使う

●かけやすいようにアイロンを持ちかえて。

一方向にかける

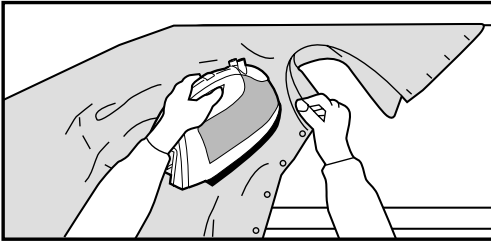
●往復は戻りジワのもと。

縫い目は引っ張りぎみに

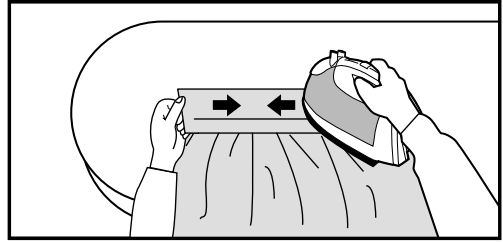
●細かいシワが残らないように。

■ワイシャツ

混紡（綿・ポリエステル）はスチームで、綿・麻は霧吹きをしてドライで仕上げます。

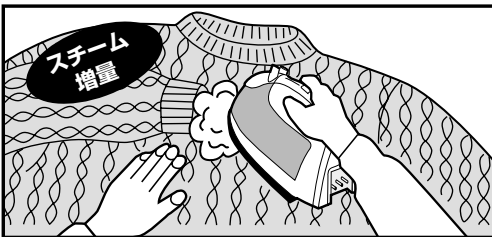
●袖の仕上げ

袖下の縫い目を基準にして、袖下から袖山へ向かって一方向にかけます。

アイロンを左手に持ちかえて、右手でカフスを支えながら袖口をきめます。

カフスを開き、その中にアイロンを軽くすべらせ、カフスの内側をかけます。

カフスを合わせ、カフスボタンを下にし、タックを押さえがけします。

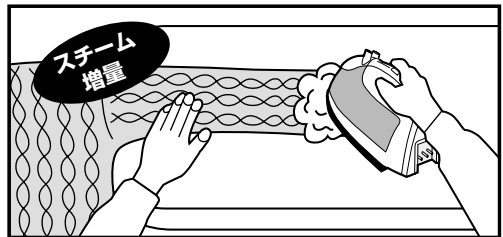
上手なアイロンのかけ方（つづき）

●肩（ヨーク）の仕上げ

テーブルの先端を利用して両肩をかけます。
（アイロンを左手に持ちかえた方がかけやすい）

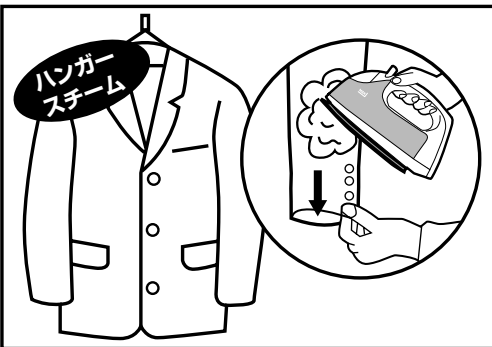
●エリの仕上げ

両端から中央へ向かって半分ずつかけていくと襟端にたるみが残らず仕上がります。

■セーター

●全体仕上げ

①全体にスチームをかけます。
アイロンかけ面が触れる程度で、スチームを全体にかけて形をととのえます。

●袖口など部分仕上げ

②形をととのえます。
伸びきった袖口やゴム編み部分には、たっぷりスチームをかけ、タテ方向に引っ張りながらととのえます。

■背広

●衣類をハンガーにつるしたまま

衣類の端を片手で軽く引っ張り、ハンガースチームをかけながら軽くかけ面でならします。何回か繰り返しおこないます。

防虫剤のにおいや衣類にしみついたタバコおよび汗のにおいなどは、全体にハンガースチームをかけます。

しみ抜き

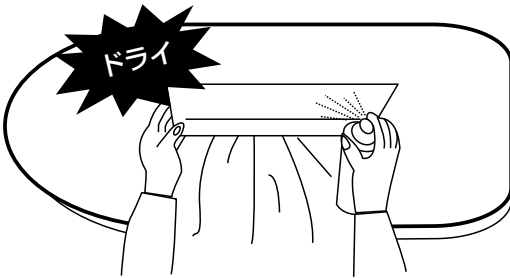
スチームをかけ、繊維をほぐします。タオルなどを敷き、ガーゼにリグロインまたはベンジンを含ませ、たたいた後、再度スチームをかけ、においをとります。

POINT!!

●布地のテカリ防止や布地を傷めないために
低温・中温の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。学生ズボンやスカートなどテカリやすいものは、必ず「当て布」をしてください。

■かけ面に布がからみつくときは…

●静電気が発生しています。かけている衣類を最後まですべらせてから、アイロンを持ち上げるか、当て布をしてください。

スプレーのりを使用する場合

ワイシャツの襟、カフスなどのパリッとした仕上げに使います。

●洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、**必ず「ドライ」**でアイロンかけをします。

少し固めに仕上げたいときは……

スプレーのり ➡ アイロンかけ（ドライ） をくり返します。

※一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因となります。

●ご使用後はかけ面がよく冷えてから濡れた布でかけ面についたのりをふきとってください。

スチームの上手な使い方

■スチームの出が弱い時は、ドライ／スチーム切り替えボタンをゆっくり2〜3回操作する。または、スチーム増量ボタンを1〜2回押す。

■水タンク内の水が少なくなったら水を補給する。

■ご使用の水は、上水道の水（浄水）か市販の精製水をお勧めします。

●ミネラルウォーターやイオン水は使用しないでください。

■スチームの出が止まるまでスチームを使用した場合、湯滴が出てくることがあります。

お手入れ（電源プラグを抜き、よく冷えてから）

■本体やかけ面などの汚れは、

●やわらかいぬれた布でふいてください。
（スプレーのりを使用した後は必ずふいてください）

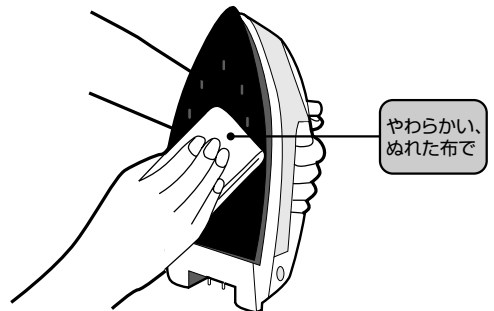
●がんこな汚れは、中性洗剤を含ませた布でふいてください。

※みがき粉・シンナーなどは使わないでください。

■スチーム穴をつまりにくくするには、

●「高」位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上に2〜3回「スチーム増量ボタン」を押してください。

■スチーム穴がつまったときは、

●つまようじで掃除したあと、「高」位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上で「スチーム増量ボタン」を数回押してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら…この表を見ながらチェックしてください。
直らないときは修理をご依頼ください。

症　　状	調べるところ・対処方法	参照ページ
熱くならない 切 ランプが点灯しない	●電源プラグをコンセントに**しっかり差し込んで**ください。 ●アイロンをスタンドへ**正しくセット**してください。	7･8･9
スチームが出ない／少ない	●スライドスイッチを「高」位置にしてください。 ●スチームボタンを**ゆっくり2〜3回押して**ください。 ●**「スチーム増量ボタン」**を**1〜2回操作**してください。 ●パイロットランプが**点灯**しているときは、**消灯**になるまで待ってください。 ●水タンクの水がすくなくなっています。水を足してください。 ●アイロンをスタンドに戻して給電してください。	8･9･10
水漏れ・湯滴が出る	●「スチーム増量ボタン」は、**4〜6秒間隔**で押してください。 ●パイロットランプが**点灯**しているときは、**消灯**になるまで待ってください。 ●水タンクがキチンと取り付けられているか、確認してください。	7･8･9･10
温度表示ランプが 切 ランプ（緑）に変わっている。	●オートオフしました。温度設定をし直してください。	10
布地が焦げる	●温度設定を適温に合わせるか、**「当て布」**をしてください。 また、洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。 ※衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンがけをしてください。洗濯のりのつけすぎにもご注意ください。	8･9･12･13
スチーム（特にスチーム増量時）噴出時に白い粉が出る	●水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。 ●白い粉が衣類についた場合は、払っていただくと取れます。	7・15
温度表示ランプが点滅したままオートオフした	●設定温度を下げても、室温が高く、設定温度に下がるまで時間がかかっています。温度設定を再度し直してください。 （特に「高」から「低」に温度設定をした場合）	6
設定をしていないのに温度表示が自動的に切替わる	●室温が低く、アイロン内の水滴が凍結している恐れがあり温度設定ができないようにしています。室温を5℃以上に上げてください。	18

※チタンコートは長く使用しますと摩耗してこびり付防止の効果はうすれますがそのままお使いいただけます。
※初めての給電時に、臭いがすることがあります。
※水タンク内に水滴が付くことがありますがしばらくするとなくなります。
※スタンドを塩ビシート貼りの家具やフローリングの床や台に長期間置くと、ゴム足の跡がつくことがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（☞下記）にお問合わせください。

❶ 保証書 （表紙の続きにあります）		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。 **保証期間―お買い上げ日から1年間です。**
❷ 修理を依頼されるとき		☞16ページの表に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。
	保証期間中	保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。 お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口（☞下記）にご連絡ください。
	保証期間経過後	お買い上げの販売店にご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。 販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口（☞下記）にご連絡ください。
❸ 補修用性能部品の保有期間		アイロンの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後5年です。 この期間は経済産業省の指導によるものです。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

仕様

電源	AC（交流）100V（50-60Hz共用）	温度過昇防止装置	温度ヒューズ（240℃）
消費電力	1200W	大きさ	幅 278mm 奥行 170mm 高さ 198mm（収納時）
種類	スチーム（スチーム・スチーム増量） ドライ兼用		幅 220mm 奥行 102mm 高さ 118mm（アイロン本体）
蒸気発生方式	滴下式	質量 （重さ）	約1815g（収納時） 約835g（アイロン本体）
水タンク容量	満水量 約110mL	かけ面	広さ 約138cm^2・ チタンコート
オートオフ	アイロンをスタンドに10分間設置した後にヒーター回路を切る。	コード有効長	約1.6m・コードリール付
温度調節	「低」約100℃、「中」約150℃ 「高」約190℃	最低使用温度	室温5℃以上

※電源プラグを差し込んだ状態では、切にしても制御回路の消費電力が約1Wあります。
また、切の状態でも、「とって」下側の一部が温かくなっていますが、故障ではありません。

愛情点検 ★長年ご使用のアイロンの点検を！

このような症状はありませんか

- 電源プラグやスタンドの給電部が異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- パイロットランプが点灯したままで消えない。
- かけ面やとってが異常に熱い。
- その他の異常、故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

家庭用コードレススチームアイロン保証書 **持込修理**

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	CSI-57	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平 成 年 月 日	本 体 : 1 年
※お客様	ご 住 所 ご 芳 名	〒 - 様	
※販売店	住 所 店 名	〒 - TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

〈無料修理規定〉
1. 取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口(☞17ページ)にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞17ページ)にご連絡ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、ご相談窓口(☞17ページ)へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
   (ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   (ヘ) 腐食、スチーム穴づまりによる故障及び損傷
   (ト) プラスチックの表面(かけ面のコーティングも含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
   (チ) 本書のご提示がない場合
   (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☞17ページ)をご覧ください。
- This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739